

# 令和3年度 地域活性化活動助成事業報告書

萩市立川上小学校 地域・学校活性化推進部 活動概要

## 1 はじめに

萩市立川上小学校のある萩市川上は、人口約900人、約400世帯で、萩市の南東に位置し、東西約12.5km、南北約14km、総面積約95km<sup>2</sup>の地域です。

山口市阿東に源流を發した阿武川が東西を貫いており、地域の中央部には、昭和50年に完成した県営阿武川ダムがあります。

地域の87%を森林が占め、林業が盛んで、杉や檜の造林が盛んです。平成元年に建築された校舎は、地域の杉や檜の間伐材も使われており、木のぬくもりが伝わってきます。

谷あいを開けた農地では米や玉ねぎなどが生産され、山の傾斜地や水田を利用した柚子の栽培も盛んで、その加工品は地域の特産物となっています。名勝長門峡・阿武川ダム・阿武川温泉などの資源をもとにした観光産業、工場誘致、住宅建設による人口定住化などにも、力が入れられてきましたが、過疎化により児童数は減少を続け、平成20年に初めて複式学級が設置されました。

地域や保護者の学校に寄せる関心や期待は大きく、学校も、地域と共に、また地域に貢献できる学校を目指しており、これまで助成金をいただくことで取組が充実してまいりました。

本年度から、分離型小中一貫教育校となりPTAや学校運営協議会も小中で一つになり活動に連携が生まれています。コロナ禍により、地域連携行事に制約がかかることもありましたが「どうしたらできるか」という学校と地域と共通の視点で取り組むことができました。また、地域行事と学校行事の一体化を規模や方法を工夫して実施することにより、地域と学校の関係がさらに良好になりました。

いただいた助成金により、地域との合同行事を円滑に実施できたことに心から感謝しております。

## 2 活動の概要・様子

### ① 地域清掃

過疎化が進んでおり、学校横の河川堤防や地域が管理する公園の整備も人手不足で難しく地域の困り感もありました。例年、学校運営協議会と地域協育ネット、小中PTA、児童生徒、学校職員で手分けをし、清掃活動を行ってきました。

今年度は、実施時期に新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあったことから、小中の保護者と地域住民の有志、学校は小中管理職で活動を行いました。参加者数を心配していましたが、例年並みの人数となり予定通り作業ができました。



### ② カヌー「阿武川くだり」

川上小・中の学校運営協議会主催で、カヌーによる阿武川くだりを行いました。カヌーの出発場所や係留個所を事前に草刈りをするなど、準備も地域と共同で行いました。

昨年度からは「全国初」の小中合同体育科カヌーとなり、地域を代表する取組となっています。



### ③ 鼓笛隊

昭和40年から続く活動です。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年披露している「ふるさと祭」での活動を見送りましたが、「保小中地域大運動会」では衣装を着ての応援、「小中合同文化祭」では演奏をしました。

限られた時間と感染予防の観点から十分な練習はできませんでしたが、真剣に演奏する姿や、文化祭に来られた多くの方々から拍手をいただいた子どもたちの笑顔を見ることができました。



「保小中地域大運動会」では教育会ののぼりを立てさせていただき、PTAや地域の皆様に助成をいただいていることをお知らせしました。



### 3 おわりに

本年度、地域活性化活動奨励事業から助成金をいただくことが叶い、コロナ禍の中にあっても地域と共に充実した活動ができました。また、活動した結果から、子どもたちの達成感や成就感が生まれ、地域に元気を届けることができました。

山口県教育会の皆様に心から御礼申し上げますとともに、来年度もコロナに負けず「地域とともにある学校」をさらにめざしていく所存です。